

キャリアフェスだより

令和4年9月9日 発行

キャリアフェス
まで63日

第6回生徒実行委員会を9月4日(日)9時半から18時まで市役所で行いました。

今回は2年生12名と3年生5名の計17名が集まりました。また、大人は、実行委員長の網野さん、副実行委員長の根橋校長、教育委員の田畑さん、伊那青年会議所から「割烹 海老屋」の鈴木さん、小林さん、小牧さん、根橋さんたちが参加してくださいました。

そして、新たにキャリア教育コーディネーターの補助として、甘利 紗恵子さんがキャリアフェスのお手伝いをしてくださることになりました。(パチパチパチ)

今回のキャリアフェスだよりも、生徒実行委員会の生徒さんが内容を考えてくれました(^ ^)

伊那市中学生キャリアフェス2022のテーマが決まりました！！

むげんだい 「はじめの一步～夢限大の自分へ～」

9月4日 第6回実行委員会 内容

初めに近況報告をしました。自分が最近頑張ったことや部活のことなどの報告を聞きました。

次に事前活動について話し合いました。みんなで各学校を回ることができなくなってしまったので、どういった形で自分達の思いを伝え、大人の方達の話も聞いてもらい、キャリアフェスが楽しみ！と思ってもらえるのかを考えました。

その次に、甘利紗恵子さんから自分の働き方についてお話ししてもらいました。甘利さんは5年前からメインの仕事を持たずに何個もいろんな仕事をしているそうです。初めは、一つのことに集中して取り組めない人と思われていましたが、何年もやっていくうちに理解されるようになり今ではたくさんの場所で必要とされているそうです。

それから、田畑さんからキャリアフェスについてのお話を聞きました。何のためにキャリアフェスをするのか、キャリアフェスとは何かを質問されました。私たちは、「視野を広げる。」「新しい自分に出会う。」「大人、伊那市を知ってもらう。」「自分の中の可能性を広げる。」「将来の選択肢を増やす。」「いろいろな人と関わる。」「自分の中で変化を起こす。」「未来について考える。」というような考えができました。この言葉は全部私たちには共通言語としているものがクラスみんなにはどの言葉が響くのか。「キャリアフェスが楽しみになりました。」という言葉を引き出せるのか。私たちが絶対に伝えたい、なってほしいと思う言葉を見つけていこうと言われたので、これから進めていく中で私たちの中で「絶対にこれだけは伝えたい！」というものを見つけていこうと思いました。田畑さんがキャリアフェスをはじめたき

かけについてお聞きしました。日本でも、伊那市でも人口が減少しています。それをマイナスと考えるのではなくプラスに考えることによって、何が正解なのかはわからないけど、自分の娘や孫が住めるところを大人が作っていく、社会の責任と捉えているそうです。それが田畑さんのキャリアフェスをはじめたきっかけだそうです。

午後は、「割烹 海老屋」の料理長の鈴木さんが来てくださり、お弁当の献立を考える時の工夫や、なぜ料理人をしているのか等のお話をお聞きしました。

午後は主に小委員会の活動をしました。今年は、「リーダーチーム」「パンフレットチーム」「オープニングチーム」「クロージングチーム」で分けて、オープニング、クロージングチームで活動をしました。どうしたら盛り上げられるのか、事前活動では、みんなが楽しんで、気持ちをもっと上に上げるには何が必要なのかを話し合いました。

パンフレットチームはテーマに合わせたイラストとそこに似合う色を考えました。リーダーチームはシェアリングについて話し合いました。テーマに「はじめの一步」とあるのでキャリアフェスを終える前と終えた後に自分が何歩進んだのか、同じ意見の人と感想を言い合うことが決まりました。みんなで練りに練りまくって決まったテーマはサイコー！なので、これからそのテーマと共にがんばっていきましょうと思います。



予告

- 第7回生徒実行委員会 9月25日(日)9時半～18時 開催
場所は、伊那市役所5階・501会議室。
- 第8回生徒実行委員会は、10月3日(月)9時半～18時 開催
場所は、防災コミュニティセンター 多目的ホール。

参加される方は事務局(0265-78-4111 内線:2734)山本までご連絡ください。

